

古代国府の実像

講師 人間文化研究機構理事 平川 南 氏

古代日本において、60数か国ある国を統治するために、それぞれの国に設置された行政府が国府である。その所在地は水陸交通の要地で、都に近い位置に定めたものが42国で最も多い。

国府研究の問題の第一点は、相模国府のように、国府の多くは移転していることである。郡家の場合には行政府の国府と異なり、前代から築いてきた地域基盤に拠点を置いているため容易に移転しがたい。これまでの国府研究においてはこの基本的性格を踏まえ、各国ごとに個別に変遷を論じてきた傾向が強い。

第二点は、国府に人口を集中させ、最先端技術による多様な生産と消費・交通システム、さらに宗教施設・祭祀空間を確立し、いわゆる都市空間が形成されていた。したがって、これまで以上に広範な国府域を想定する必要がある。

古代国府跡研究の最先端にある武蔵国府をはじめ、下総・甲斐・信濃・出羽国府を具体例として、上記の諸課題について新たな見解を述べてみたい。



府中市郷土の森博物館蔵「国府のマチ復元模型」の写真一部

【講師紹介】

山梨県立博物館館長。前国立歴史民俗博物館館長。文学博士。日本古代史専攻。1990年『漆紙文書の研究』で第12回角川源義賞受賞。主著・論文に『漆紙文書の研究』(吉川弘文館)、『よみがえる古代文書』岩波新書(岩波書店)、『墨書土器の研究』(吉川弘文館)、『古代地方木簡の研究』(吉川弘文館)、『全集日本の歴史2 日本の原像』(小学館)、『東北「海道」の古代史』(岩波書店)、『古代日本と朝鮮の文字文化交流』編著(大修館書店)、『出土文字に新しい古代を求めて』(同成社)、『律令国郡里制の実像』上巻・下巻(吉川弘文館)など多数。

- 【日 程】 2017年9月2日(土) 午後2時～午後4時(受付は午後1時30分より)
- 【会 場】 横浜市歴史博物館 講堂 市営地下鉄 センター北駅 下車徒歩約5分
- 【募集人員】 170名 (応募多数の場合抽選)
- 【参加費】 500円
- 【申込方法】 往復はがき (一人一通)
①講座名 ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤どこで開催を知ったかを明記の上、下記へお申し込み下さい。
- 【送 り 先】 〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56 クリーンセンタービル5F
横浜市市民活動支援センター「レターケース No35 横浜歴博もりあげ隊」
- 【申込締切】 2017年8月19日(土) (当日必着)
- 【問合せ先】 横浜歴博もりあげ隊事務局 Tel 080-4896-4677(7月8日より可 9:00~17:00)